

精神・神経の障害認定に関する専門検討会報告書

精神・神経の障害認定に関する専門検討会

精神・神経の障害認定に関する専門検討会報告書

精神・神経系統の障害等級の認定に当たっては、昭和 50 年 9 月 30 日付け基発第 565 号「障害等級認定基準について」（以下「認定基準」という。）に基づいて行われているところであるが、近年の医学的知見の進展に伴い、精神・神経系統の認定基準等の見直しについて検討を行った結果、別添のとおり取りまとめたので、ここに報告する。

なお、検討を行った期間は、平成 12 年 2 月から平成 15 年 6 月の間であり、この間に分科会における会議も含め 44 回の会議を開催した。

平成 15 年 6 月

精神・神経の障害認定に関する専門検討会

座長	原田	憲一
	小西	博行
	佐々木	時雄
	馬杉	則彦
	早川	徹
	松谷	雅生
	三上	容司

目次

I 非器質性精神障害に関する検討	
第1 検討の視点	1
第2 非器質性精神障害の後遺障害の評価を行う上での基本的な考え方	2
1 障害認定の時期	2
2 非器質性精神障害による後遺障害の程度	3
3 重篤な症状のまま症状固定となった場合の取り扱い	4
4 症状が変動すること等による障害認定上の留意点	5
第3 非器質性精神障害の後遺障害としての精神症状	5
第4 後遺障害の評価の方法	6
1 非器質性精神障害の後遺障害の障害認定の考え方	6
2 障害等級の具体的評価	6
(1) 精神症状の有無、内容の確認	7
(2) 能力低下の状態の評価	7
(3) 総合評価	8
II 器質性神経・精神障害に関する検討	
第1 検討の視点	11
1 現行認定基準の概要	11
2 現行認定基準の問題点	11
3 検討の方向性	12
第2 脳及びせき髄の損傷による障害の評価方法の検討	13
1 基本的な考え方	13
(1) 障害の評価の基本的視点	13
(2) 神経心理学的テスト等による評価の妥当性	13
(3) 障害の評価を行う際の着眼点	13
(4) 総合評価の妥当性	14
2 高次脳機能障害の評価	15
(1) 高次脳機能障害の評価の視点	15
(2) 障害の評価の具体的着眼点	15
(3) 障害の評価に当たっての留意事項	16
(4) 評価の基準	16
3 身体性機能障害	19
(1) 脳損傷の場合	19
イ 現行認定基準の考え方と問題点	19
ロ 障害認定の方法	20
(イ) 基本的な考え方	20
(ロ) 麻痺の程度の評価	20
(ハ) 身体性機能障害の程度	22
(二) 障害等級の例示	23

(ホ) その他の検討事項	25
(2) せき髄損傷の場合	27
イ 評価の方法	27
ロ せき柱の変形又は運動障害の取り扱いの検討	27
ハ 馬尾神経の損傷の取り扱いの検討	28
ニ 具体例	28
(3) 根性の表記について	30
第3 器質性の障害に関するその他の特徴的な障害に関する検討	30
1 検討事項	30
2 外傷性てんかん	30
(1) 検討の視点	30
(2) てんかんの発作のないものの評価の検討	31
(3) 外傷性てんかんの認定基準の検討	32
(4) その他の事項に係る検討	36
3 頭痛	36
(1) 現行の取扱い	36
(2) 検討の視点	36
(3) 検討内容	36
4 失調・めまい及び平衡機能障害	38
5 神経痛	38
(1) 現行の取扱い	38
(2) 検討の視点	38
(3) 検討内容	39
(4) 検討結果	39
6 RSD	40
(1) 現行の取扱い	40
(2) 検討の視点	40
(3) 検討内容	40
イ RSDに関する当検討会の基本認識	40
ロ RSDの障害認定基準への取り込みに関する考え方	41
ハ 検討結果	42
7 振動障害	43
Ⅲ 障害等級の新設に関する検討	
第1 現行の神経系統の機能又は精神の障害に係る省令	44
第2 検討の視点	44
第3 検討内容	44